

2018年夏期コース 認知症を考える

こまば当事者カレッジは、2018年夏期コース「認知症を考える」を5月より開催いたします。

本コースのイベントとして行われたシンポジウムで、参加者からシンポジストに対して様々な質問が寄せられました。そのなかに、次のような趣旨の質問がありました。

「ご自身が認知症になったらどのように生きていきたいですか？」

シンポジストの1人は次のように応答しました。

「この問い自体、認知症になったら生き方を変えねばならないということを前提にしているのではないのでしょうか？」

認知症と診断されてもそれまでの本人の歴史を尊重し、未来への希望を叶えるために、当事者、専門家や支援者、家族、一般の人々はどうすればいいのでしょうか？

本コースでは、そうした社会の実現に向けて積極的に発言されている専門家と当事者の方々を講師としてお招きし、共に学び、考えていくことを目的としています。

本コースは、全6回（予定）のレクチャー&ワークによって構成されています。各回のレクチャー&ワークは、講師によるレクチャー部分の前半と、レクチャーを受けて、講師と参加者の皆さんで議論していただくワーク部分の後半に分かれます。ワークでは、各回のテーマについて、小グループに分かれてディスカッションなどを行う予定です。全6回のレクチャーとワークを通じて、認知症の当事者にとって生きやすい社会とはどのようなものなのかを考えていきたいと思えます。

2018年3月

こまば当事者カレッジ

● レクチャー&ワーク テーマ・講師（※各テーマは暫定的なもので変更の可能性があります。）

5月12日(土) 13:00-17:00 「認知症って何ですか？」

樋口直美(レビー小体病当事者)、山口泰弘(東京大学医学部附属病院老年病科 講師)

6月24日(日) 13:00-17:00 「ユマニチュード:ケアの技法」

本田美和子(国立病院機構東京医療センター)

7月14日(土) 13:00-17:00 「認知症の人類学」

北中淳子(慶應義塾大学)、小林孝彰(認知症ケア町田ネット世話人)

7月21日(土) 13:00-17:00 「介護現場からの問い」

金山峰之(コアハウス弥生)、堀田聡子(慶應義塾大学)

8月4日(土) 13:00-17:00 クロージングワークショップ

※他に上野秀樹さん(千葉大学)を講師として予定していますが、日程は未定です。

● 場所 東京大学駒場1キャンパス内

- ・本コースは学びの場を提供するものであり、何らかの資格や権利が得られるものではありません。
- ・本コースの参加費は無料です。(懇親会や昼食会などを行う場合には、会費を頂戴いたします。また、テキストなどを使用する場合には、原則として各自でご用意していただくことになります。)
- ・コースの様子をウェブや報告書、論文等での活動報告のため撮影・録画・録音させていただきますので、ご了承の上ご参加ください。撮影・録画・録音した記録を直接研究に使用する場合には、改めてご本人の承諾を得たうえで使用させていただきます。
- ・アンケートの結果やワークでの議論の内容をホームページや報告書・論文などでご紹介させていただきます場合があります。
- ・詳細は web ページをご確認ください⇒ https://utcp.c.u-tokyo.ac.jp/events/2018/05/post_165/

各回ごとに参加者を募集します。
ご案内を希望される方は、
件名を「2018 夏期コース案内希望」として
tojisha-college@utcp.c.u-tokyo.ac.jp
までご連絡ください。



イラスト・文字 ひろのはこ